

9月12日は  
**宇宙の日。**

全国小・中学生作文コンテスト  
『私の行きたい星・住みたい星』  
全国小・中学生絵画コンテスト  
『宇宙こどもオリンピック』

# 入選 作品集

平成8年「宇宙の日」記念行事  
宇宙ふれあい塾\*96

全国小・中学生作文コンテスト審査総評	東京学芸大学教授	1
全国小・中学生絵画コンテスト審査総評	東京学芸大学教育学部附属小金井小学校校長 宮腰 賢	2
全国小・中学生作文コンテスト入賞者一覧	横浜国立大学教授 横浜国立大学教育学部付属横浜小学校校長 宮坂 元裕	3
全国小・中学生作文コンテスト入賞者作品集	科学技術庁長官賞●小学生部門	4
	科学技術庁長官賞●中学生部門	5
	文部省宇宙科学研究所所長賞●小学生部門	6
	文部省宇宙科学研究所所長賞●中学生部門	7
	宇宙開発事業団理事長賞●小学生部門	8
	宇宙開発事業団理事長賞●中学生部門	9
	(財)日本宇宙フォーラム理事長賞●小学生部門	10
	(財)日本宇宙フォーラム理事長賞●中学生部門	11
	(財)日本宇宙少年団理事長賞●小学生部門	12
	(財)日本宇宙少年団理事長賞●中学生部門	13
各科学館入賞者一覧		14
全国小・中学生作文コンテスト実施記録		18
全国小・中学生絵画コンテスト入賞者一覧		19
全国小・中学生絵画コンテスト入賞者作品集	科学技術庁長官賞●小学生部門・中学生部門	20
	文部省宇宙科学研究所所長賞●小学生部門・中学生部門	21
	宇宙開発事業団理事長賞●小学生部門・中学生部門	22
	(財)日本宇宙フォーラム理事長賞●小学生部門・中学生部門	23
	(財)日本宇宙少年団理事長賞●小学生部門・中学生部門	24
	佳作	25
全国小・中学生絵画コンテスト実施記録		28
参加科学館一覧		29

# 「宇宙の日」全国小・中学生作文コンテスト審査総評

## 審査を終えて

全国小・中学生作文コンテスト審査委員長  
東京学芸大学教授・東京学芸大学教育学部附属小金井小学校校長 **宮腰 賢**

九月十二日の「宇宙の日」の記念行事のひとつである作文募集は、今回で四回目になります。全国の小・中学生の皆さんから、三九一三点の作品が寄せられました。小学生の皆さんからの応募が少なくなつたせいで、昨年よりも少ない作品数ですが、どの作品も力作で、内容はたいそう豊かになっています。宇宙への関心の深まっていることがよくわかって、たいそううれしく思います。

今回の審査では、これまでと同じように、つぎの四点を基準に採点しました。(1)アイデアが独自で、発想が豊かか。(2)訴えるものがあり、生き生きと書けているか。(3)構成や文章がしっかりしているか。(4)宇宙や科学についての知識が確かか。

慎重な審議の結果、とくに、発想のおもしろさ・楽しさ、創造性の豊かさに注目して、科学技術庁長官賞をはじめとする五つの賞が選ばれました。

今回の作品では、宇宙に夢を広げながらも、地球という星のかかえている課題をしっかりと見つめ、地球の将来を担う者としてどうしようとするのかを真剣に考えたものが目立ちました。小・中学生の皆さんよりも年をとっている審査員の先生方が「これなら地球の将来に希望が持てる。」と、勇気づけられました。

このすばらしい作品ができるだけ多くの小・中学生の皆さんの目にふれ、宇宙に夢を広げ、地球の将来の担える仲間の一員になるきっかけになればありがたいと思います。

# 「宇宙の日」全国小・中学生絵画コンテスト審査総評

## 審査を終えて

全国小・中学生絵画コンテスト審査委員長  
 横浜国立大学教授・横浜国立大学教育学部付属横浜小学校校長 宮坂 元裕

今回のテーマは「宇宙子どもオリンピック」でした。このテーマは二つの考え方に分けることができます。一つは、いつの日か人間が宇宙都市でオリンピックをやりたいという絵です。もう一つは、宇宙に住む生物達とオリンピックをやりたいという絵です。集まった作品は、そのどちらかに分けることができず、どちらの絵も、とても楽しい絵ばかりでしたので選ぶのに苦労しました。

選ばれた作品は、いろいろな星から、いろいろな生き物達が集まってきて仲良くオリンピックをやっているところの絵が多かったように思います。でも、なかにはバルセロナやアトランタに世界中の人々が集まってオリンピックをやったように、やがては宇宙都市でオリンピックが行われることを夢見てそのような絵をかいた人もいます。宇宙旅行用の宇宙船に乗って宇宙都市に行き、そこで宇宙オリンピックを見る事が出来るようになるのは、いつの日のことでしょうか。

私たちは、明るくてのびのびした絵、そして、かいた人がどんな事を考えているかが見る人に伝わってくるような絵を大切にしました。そして、それにプラスして、明るくて見る人達が楽しくなるような絵を選んだつもりです。

二十一世紀に生きる今の子どもたちが宇宙と仲良く付き合っていくようすが、良く分かって未来に希望がもてます。

# 全国小・中学生作文コンテスト入賞者一覽

## 小学生部門

### 科学技術庁長官賞

「ぼくの鉱物採集宇宙旅行」

庄司 亮一  
 愛知県名古屋市長

名古屋市長笠東小学校・3年  
 でんきの科学館

### 文部省宇宙科学研究所長賞

「ぼくは、木星第1号の生物になって」

中野 雄介  
 兵庫県西宮市長

西宮市立上甲子園小学校・3年  
 姫路科学館

### 宇宙開発事業団理事長賞

「銀河旅行会社へようこそ」

浜口 智之  
 岐阜県本巣市長

穂積町立穂積小学校・6年  
 岐阜市科学館

### (財)日本宇宙フォーラム理事長賞

「元気星が、一番」

榎本 祐子  
 岐阜県各務原市長

各務原市立鷺沼第二小学校・3年  
 かかみがはら航空宇宙博物館

### (財)日本宇宙少年団理事長賞

「土星のリング」

竹田 圭佑  
 北海道旭川市長

旭川市立緑新小学校・2年  
 旭川市青少年科学館

## 中学生部門

### 科学技術庁長官賞

「虹色に輝く星」

杉本 貴文  
 富山県富山市長

富山県立三成中学校・2年  
 富山県科学文化センター

### 文部省宇宙科学研究所長賞

「目を閉じれば…」

大谷 和子  
 大阪府大阪市長

大阪市立成陽中学校・2年  
 大阪科学技術館

### 宇宙開発事業団理事長賞

「火星トレーニング」

坂井 野々  
 岐阜県岐阜市長

岐阜市立本荘中学校・2年  
 岐阜市科学館

### (財)日本宇宙フォーラム理事長賞

「宇宙での生活」

河原木 佳子  
 青森県八戸市長

八戸市立下長中学校・3年  
 八戸視聴覚センター・児童科学館

### (財)日本宇宙少年団理事長賞

「2010年の夢」

小山 修平  
 群馬県群馬市長

私立新島学園中学校・2年  
 館林市子ども科学館

## 「ぼくの鉱物採集宇宙旅行」

名古屋市長笠東小学校3年 庄司 亮一

今は、宇宙旅行も夢ではありません。将来、行きたい人はだれでも行けるようになるかもしれません。それは、有人宇宙飛行が次々と行われたり、宇宙ステーションの建設も始まりつつあるからです。今はまだ、宇宙に飛び立つためのきびしい訓練、たとえば、重力負荷テスト、宇宙酔いをしないための訓練、下半身負荷陰圧装置のテストを乗りこえなければなりません。そのうちにきつと自由に宇宙行きの乗り物に乗って行けるようになると思います。

地球からぼくたちが星をみる時は、見たい星は、そのきつと待たなくてはならなかったり、たとえば、土星はそのわのかたむきが何年も待たなくては変わりません。ぼくはちよつとよいかたむきも見てみたいし、目玉やきのような形も見てみたいのです。何年もぼくえんきようをのぞいて待つより、自分で出かけて目の前で見てみたいのです。

ぼくが宇宙空間でのいどうが自由にできたら、一番してみたいことは、太陽系の惑星たんけんとそのえい星めぐりです。その時は、一番遠い惑星冥王星、そしてそのえい星カロンから水星まで一個ずつ行きます。大気のある星は注意します。それは大気には有毒なものもあれば、地球人には害をあたえるものもあるからです。ぼくはイギリス生まれのホルストという人が作った「惑星」の曲がすきなで、その音楽を聞きながら旅行したいと思います。

惑星旅行をする時は、ただ気楽に行くのではなく、惑星やそのえい星で一つの事を調べるのです。それは石を採集して回る事です。ぼくは、博物かんでいろいろな鉱物を見ることがあります。どれも美しく、あんなにきれいな物が、この地球という星の中でできるはずがないと思います。そして自ぜん力の力はすばらしいと思います。又、同じ所でのえい星も見ました。ぼくの宇宙の旅は石探しの旅です。そして、その石も特別なかざり物としてみるのではなく星の一部として見るのです。

まず、冥王星やそのえい星は極寒の世界なので氷と雪のついた石が見つかるでしょう。次に土星、天王星、海王星は、ガス惑星なのでとれそうにありません。土星のわは、岩石ですが、非常に速いスピードで回っているのとるのが大変そうです。その岩石をなんとかとる装置をしかけます。ここまで来てまだまだ採集した石は少ないですが、休けいします。土星はとくちようのある形なので惑星の中で一番人気者です。えい星も十数個あるのでここで石拾いをしたら、あとはえい星に二日ずつ住んで、土星のわのかたむきを楽しみです。

むきを楽しみたいと思います。

次は木星です。これもガスでむりですが、十六個のえい星の内、イオの火山で石が降ってきたら大成功です。おとし、ぼくもわくわくしたシューメイカー・レヴィー九すい星のしよつとつあともじつくりと見て行きたいと思っています。

次の小惑星ぐんは、直径が大きいのですが、かけらがうかんでは採集します。

いよいよ火星です。火星にはほんの少し水と空気があったらいいので、地球にた石があるかもしれません。火星では表面だけでなく、地中の石も採集します。ここには赤くてきれいな鉱物があると思います。えい星のフォボスとダイモスの石もわすれません。次に内惑星の金星と水星です。ここは炎熱の世界なのでむずかしいですが、金星は岩石が転がっている所があるそうだし、水星にはクレーターがあるらしいので、無人採集ロボットを使います。金星は熱いので、しかもよの石が見つかるかもしれません。

最後は月です。人類が何度も目指した最も近い星です。月はあんなに美しい満月になるので、博物かんにあるものよりもっと美しい石もあるはずで。

それぞれ惑星やえい星で集めた石を、けんび鏡で調べたりすると、その星の持つ力やすばらしさもつとよくわかるとおもいます。

ぼくは夏休みに種子島のロケットの打ち上げを見に行きます。宇宙が、また一歩近づいてきそうに思います。あの遠い空のむこうにある広大な宇宙に美しい鉱物を持つた星がうかんできると、本当にうれしくてぼくの心はもうロケットに乗って宇宙に発射しています。

# 科学技術庁長官賞●中学生部門

## 「虹色に輝く星」

富山市立三成中学校2年 杉木 貴文

「ただ今、左手に見えるのが冥王星です。」  
我々の乗った宇宙偵察用ロケット「Xプラネット」がまもなく太陽系を離れようとしています。

こうして我々の宇宙偵察の旅は始まりました。現在の地球には、自然破壊、大気汚染、人口増加による食糧不足、ゴミ問題、エネルギー問題などたくさん問題があります。その問題を解決するため、ある惑星を視察するのが目的です。百人を越す科学者や一般の人々が乗っています。出発前、それらの人々の間で、激しい議論がありました。地球をすてて移住するか。あるいは今から行く星を参考にして地球をよみがえらせるか。結論は出ませんでした。

「ただ今から、ワープ航行に移ります。シートベルトを締めてください。」  
ここから先二光年、全く先に星のない直線です。地球で言えばさながら高速道路かな。そういうときはワープ航行を使います。他にもこの「Xプラネット」には超ハイテク技術が満載です。光速よりも速く飛行できるタキオンエンジン、快適な飛行をするための重力発生装置、たくさんの食料を確保するためのバイオ農園などなど。  
暗黒の宇宙で迷子にならないか？

心配ご無用。宇宙の中にある明るい恒星を宇宙の灯台とした宇宙地図があるのです。今のところ宇宙望遠鏡のおかげで百万光年先まで完成しています。

我々の目指す星が見えてきました。ケンタウルス座のアルファ星にある惑星です。この星は、宇宙望遠鏡の調査の結果、生物反応が確認されています。望遠鏡でみるときれいな虹色に輝く星です。きつと人類を救うヒントがあるはずで。

「ただ今から着陸体勢に入ります。」  
キユウウーン；ブシューーン。  
今から人類の運命をかけた偵察が始まります。

### 調査結果

この星では二酸化炭素を炭素と酸素に分解する微生物が存在します。炭素は植物の栄

養分にし、酸素は動物の呼吸に利用しているのです。

驚いたことに、なんとこの星では、動物、植物との会話が可能なのです。植物が何を考えどうして欲しいのかが分かるのです。それで、植物も意志をもつ知的生命体と考え、話し合うことで互いの気持ちを理解し合っているのです。当然むやみに採ったり、植えかえをしたり、殺したりもしません。それどころか、話し合いを通して互いを理解しているの、無視したり邪魔したりすることなく、思うがままに安心して生命を育てているのです。

つぎに驚いたことは、気候や天気をコントロールできることです。常に快適かつ調和のとれた環境を保ちます。好きな所をいつでも晴や雨にすることもできます。また、植物に一番適した天候を作り出し、どんな作物でも地球時間で、ヶ月で成長します。この星には食糧不足の問題はありません。

この星でのエネルギー源は光です。発電所ならぬ発光所が都市のと真ん中に建てられています。もちろん安全、しかもクリーン。そして各地に、光増幅装置があり、必要最低限の量で、最大のエネルギーを発生させることができます。あ、言い忘れてました。この星では、エネルギーはたまたです。

以上

調査を終えたロケットの乗り組み員が全員中央ホールに集まりました。移住が、それとも地球の再生か。いろいろな意見が飛び交いました。

「植物や動物とは話ができないが、この星のようにそれらを理解し、いたわることは我々の地球でもできることだ。」

「もうどりかえしはつかない。地球の再生は不可能だ。この星に移住しよう。」  
「科学技術がここまで発達するまで地球がもつたらうか。」

ようやく結論がでました。

「この星のように、我々も新たな地球をきつと作れるはずだ。もどろっ。」

Xプラネットは静かに離陸を開始しました。

# 文部省宇宙科学研究所所長賞●小学生部門

「ぼくは、木星、第一号の生物になつて」

西宮市立上甲子園小学校3年 中野 雄介

ぼくが一年生のときだった。アジアの女せいで、はじめての宇宙飛行士たん生、「向井千秋」さん。それに、シムレーカーレビー第9すい星が、木星にしようつ。ぼくの小学校入学をいわつてくれるように大きな話題が二つもあつた。テレビでみていて「すこいなあ」と思うより、「これが現実なら、ぼくが大きくなつたらもつと自由に、宇宙にいけるんではないかなあ」と思ったのです。宇宙には、かぎりなくたくさん星がある。そのわく星の中で、最もぼくがいつてみたいのは、最近わかつたそうですが、土星と同じように輪をもつ「木星」です。それは、科学館で、ビデオを見たことからです。木星表面・四大えい星のせん明な写真をさつえいして地球に送つてるところでした。そのえい星イオからは、高く立ち上るふんえんがかんそくされ、現在もかつ動中の火山があることをこの目で見たとき「生きてる！」

ぼくは、エネルギーももりもり、勇気がわいてきたような…。「もしかして、地球以外に生物が住んでいるかもしれない」と、ワクワク、ドキドキした気持ちにもなれたのです。

ぼくが、大昔、まだ、きよりゆううが生きていたころの地球の写真を見たのと同じような山みやくや谷間もあつたのです。

この太陽けいで、地球以外に、ふん火活動している天体のあることに、こうふんで、むねいっばい。

「ひよつとしたら、木星は、大昔の地球なのかもしれない。これから、生物が生まれ、宇宙人が、たん生するのも…」

ぼくは、ぜつたい、この木星に、おりたつてみたいと思つて居るのです。大昔に、きつとタイム・スリップした気分だと思つた。

「ぼくは、木星、第一号の宇宙人！」と、わらいながら、自まんしてやる。

そして

彗星が、ふたたび、木星に、ぶつかつてきたら、

「おい。彗星、気をつけろよ！それとね、きみの仲間で、ハレー彗星、七十六年に一度

だけしか、地球に、近づいてこないそうだけれどもと地球人を楽しませてやれよ。」と、いつてやるかなあ。

そのハレー彗星をじつと待つよりも、人間が、スペースシャトルにのつて、月の天文台から、かんそくできるようになったら、どんなにいいだろうなあ…。

# 文部省宇宙科学研究所所長賞●中学生部門

「目を閉じれば…」

大阪市立成陽中学校2年 大谷 和子

地球でいう朝が、この星では海の世界…。

ブクブクブクウ。上にかかるあわぶく。そのあわぶくは、蟹や宿借り達が、器用に手足を動かして、あわぶくネックレスにしてくれる。そのネックレスは、人魚やオシヤレな魚達が貰いにくる。私も一つ貰お…。

あわぶくネックレスは、首にかけると…。あら！不思議。足がむずむずしたかとおもうと、「ポビュ。」っと、人魚みたいになつちやつた！これですい泳げると思うと、胸が高鳴る…。

海の水の色は、とてもキレイ…。七色に変わる…。忘れな草色になつたり、空色になつたり、露草色…。サルビアブルー、コバルトブルー、紺青色…。最後はオレンジ…。え！？

なぜ、最後はオレンジかと言うと、地球に住む魚達は、海に届く太陽の光しか知らない魚が多いだろう。海底に住む魚なんて、太陽の光すら知らない…。なんてかわいそうなのだ。あの、太陽の明るいオレンジ色を知らないなんて…。つと思つたので、この星は、海の青だけでなく、太陽の色を、七変化の海の色にあえてしたのである。

(ギョ！サメが来た！みんな食われる！)

私は、あわてふためいた…。ふと、迎りを見ると、魚達は、落ちて居る…。？。そう、ここはみな仲よし、食べたりなんかしないよ。サメも大魚もライオンも…。え！？ライオン！？そう、ここは、海の世界なのに、動物や虫もいるの。みんな人魚みたいに、足が魚になつて気持よさそうに泳いでる。ふと、上を見ると、美しい色した恐竜も…。みんな、歌を歌つたりして遊ぶの。なんと演奏つき…。貝がカクスタネット、のこぎりサメがバイオリン、サンゴがダンスも！時は穏やかに流れていく…。

あれれ！なんか海の色が緑っぽくなつて居る。

そう地球でいう、昼の時の来たのだ。海の世界から、緑の世界に変わる時…。

キラッ！照りつける太陽。海の世界から一転して、今度は、緑の世界。緑の世界は、ジャングルもあれば、草原もある。山・川・森もあるよ。森には、妖精さんも…！

「…。足が生えてる…。」

魚も足で歩いている。テクテクリズムカルに…。

「うーん。いい空気がいい。」

と深呼吸しながら、お決まりのセリフ。それから、友達、羽の生えた空飛ぶ恐竜ちやんに乗つて、「さあ！冒険だっ！」

「あつ！あああ！」

ジャングルは、いろんな鳥や虫や花でいっぱい。へびに羽が生えたような鳥や、セリリのような感触の虫、ラッパの形の花は、シャボン玉を出す。花などは、まるで意思があるかのように、ゆらゆら、体を動かす。

森では、妖精さんとダンスをしたり、木でできた、すべり台で遊んだり、森の遊園地に行つたり、川で泳いだり…。

草原では、動物達と運動会！シャボン玉転がしだけ勝つた…。ライオンと昼寝もした…。

「あつ！七色の雨…。オーロラみたい…。」

地球でいう夜は、ここでは夜空の世界。

雨がその合図なのです。

むずむず…。背中に羽が生えてる…。地面は、プワプワの雲、そして空は、まばゆいばかりに輝く星と月…。

魚は空を飛んでいる。寝ている動物もいれば、羽で飛んでるものもいる…。不思議な花も咲いている。さつきの雨が、おいしいあめになつて雲の上でキラキラ輝いている。

私はベロツとあめを食べ、星くずと月のかけらを拾いに行こうと飛び立つた。

星くず&月のかけら拾いは楽しい。星や月の下の方に行けば、なんぼでもある。星くず拾いの帰り、ひよんなことから宇宙人と友達になつた。星くずネックレスと上星の輪の上でスケート。券を貰つた…。宇宙人と友達になつて、そのうえ、ネックレスと券も貰えるなんて、なんともまあ、ラッキーな。

夜空の世界には、時々、宇宙人が来ているのである。私はお札に、星くずクッキーと月のかけらクッキーを作つて渡すことにした…。

あのね…。この星は、目を閉じれば、現れるんだよ。本当だよ。とても不思議な星…。

この星の不思議は、もしかしらば、地球上でもあるような気がしません。仕事・勉強などの時間の波で、つい身近にある不思議を見落としてるのかもしれない。ふと、自然や顕微鏡を覗いたり、ハ虫類や両生類などの奇怪な動物を飼養などで見ると、頭の中は、

もう、不思議と夢と神秘の小宇宙です。私は、不思議に出会つた時の感動が好きである。多くの人が、広大な宇宙に、不思議と夢と希望を追いかけ、科学が発達していくのは、

とても、すばらしいことだと思います…。

いつか…。こんな星に行けたらいいなあ。

## 「銀河旅行会社へようこそ」

穂積町立穂積小学校6年 浜口 智之

「ただ今よりこのロケットは、火星けいゆ、土星へと飛び立ちます。シートベルトをしっかりと下さい。」  
と、スペースレディが旅先をつける。

西暦二千××年ばくちを乗せて旅立つ。  
今回の旅は火星の岩石を登るロッククライマーと土星の輪でスケートをするリングアイスツアーの二つの目的でロケットに乗りこんだ。ぼくはこの旅行の計画者だ。  
まず、火星の楽しみ方を教えよう。赤い星、火星は太陽系にあり、惑星で七番目に大きな星だ。この星に、今では二日で行けるようになった。火星旅行が人気のあるわけは、地球に似ているからだ。なぜなら火星には、二つの月がある。フォボス、ダイモスと言ふ。

このフォボスにおいて、火星をながめるのもおススメだ。火星がいまにも顔のすぐそばまで近づいてくる経験ができるのだ。

ごつごつしたフォボスを通りすぎ、火星に到着する。服は特殊せんいからできているものに着がえる。くつも、スプリングの付いたブーツにかえ、行動しやすくする。このような服を着て、火星けい谷へと向かう。

このけい谷はながめがすくくいい。とてつもなくそびえたつ、ぬりかべのようなせつべきだけど、一歩一歩登り始めると火星が身近に感じられ宇宙の大きさ、エネルギーの強さがわかったように思える。旅行客に人気を集めるのもおもしろい。ちようど地球の潮干がりのように、鉱物を集めて係の人にわたすと、宇宙カードがもらえる。このカードを五枚集めると、土星のアイスリングスケートが楽しめるのだ。アイスリングスケートというのは、土星の水の輪にうまく乗りこめばスリルいっぱい、今まで長かった旅行もよかつたと思えるだろう。宇宙遊泳をしながら土星の輪まで近づき、スケボーに乗る調子で飛び乗れば、あとは水のステージでスケートが楽しめる。土星の水は色がまるでネオンのように変わる。この水をみんは、レインボーリングと呼びアイスショーの主人公みたいにスケートが楽しめる。実は、このレインボーリングの色は、太陽の光を集め反射させて色付けしたものだ。燃料を入れるために中、木星による。ヘリウムガスがロケットの燃料なのだ。もう一つ今計画中の旅行がある。  
それは、金星への旅だ。大きさはちようど地球に似ている。金星に大きなドーム植物

## 「火星トレイニング」

岐阜市立本荘中学校2年 坂井 野々

私は、火星へ行く。  
なぜなら、それが実現することを私は知っているからだ。

参考書をバラバラとめくった先に、偶然、それはあった。「火星」表面温度、マイナス二十三度。主成分が二酸化炭素である大気は薄い。表面は赤茶けた岩ばかりの岩園。「ああ。」

私は知らず知らずのうちに、吐息ともつかぬ声を出した。目は、そのページの火星の写真に釘付けになった。…こんな赤があったなんて！  
そこにはおおよそすべての赤が揃っていた。黒い赤、白い赤、そしてその中間には、はつとするような美しい色も。そしてそこに、何か見えた。何か、黒い豆粒のようなもの…。

その刹那、私は異次元を通過したような錯覚に陥った。  
作業ロボットが丸太小屋を組み立てている工事現場。瞬間、火星の赤い空気の中でそれを見たかと思うと、次はロケットの発射のシーン。中にあるものは、木材？…  
かすかな尾を引きながら、その幻は消えた。  
その時だ。私は目の前にいる、もう一人の私に気がついた。その私は、呆然とする私に語りかける。

いいかい、今、火星では、スポーツセンターができようとしている。それは、研究室を兼ねた宿泊所みたいな施設だ。ここで、火星トレイニングが行われることになるんだ。火星トレイニングというのは、いわゆる高地トレイニングのようなものだ。水泳、長距離の選手や登山家などがそれでトレイニングをする。空気の薄い火星上で生活すると、酸素を摂取、運搬する赤血球の量が増える。それによって水泳や長距離の競技は有利に運ぶことができるし、登山家は遭難の危険性を低くするということができるわけだ。

「分かったかな。」  
と、もう一人の私はひと息ついて、目を閉じた。そしてまた、こう続けた。

園を造り、太陽の熱を使用して、バナナやパイナップル、マンゴーがとれる施設を作る。ドームの中には、つまり、熱帯植物園になっているのだ。金星の環境をかいてきにして、くだものがりができるのなら楽しい旅になると思う。くだものがりのあとは、太陽熱を利用して作った岩石ぶろに入るのをすすめます。

宇宙をながめて入るおふろは、きつとすばらしいながめにちがいない。  
金星の気圧は地球では考えられない力で物をおしつぶしてくる。この力を利用して、ごみをちがめて処理する場所を作れば、宇宙をごみでうすめるような事はなくなるだろう。

この銀河旅行会社には三つのルールがある。  
(一)他の星に旅行した時、ごみをすてないこと。  
(二)なにごともおそれず、進んで行く勇氣を持つこと。  
(三)どんな環境の星であっても、宇宙人がいても共に生きていこうという氣持ちを持つておくこと。三つだ。

この三つが心の中にあれば、いつでも旅行することがゆるされる。旅をすることで、さまざまな文明を知り、自分を見つめなおし、新しい出発がきつとあると思う。  
地球からげ出す出発ではなく、地球のことを考えての宇宙の出発であるならば、まただれも見えない星へたどりつき、きつとすばらしい世界があるにちがいない。  
そんな銀河旅行会社の旅に参加しませんか。

二酸化炭素ばかりの火星の大気を酸素に変えるには、とても骨を折った。しかし、検討の末、「植物の光合成を利用する」という方法がとられることになったんだ。

まず、植物は寒冷地でも生きていられるものを選ばなければならぬ。それには、わずかなコケ類と針葉樹類が採用された。これなら、火星のマイナス十三度の所でも大丈夫だろう。そしてそれらに与える水は、地下かんがい設備によって運ばれる。もしも、その水を地表に出してしまうと、水はたちまち水に変わってしまう。こうして地下かんがい設備をつくり、根に直接水分を与えることによって、植物は生き、火星には酸素が満ちることになるのだ。なかなかいい方法だろう？

でも、まだ寒さの問題があるんだ。これについては、今のところ内側にカイロがベタベタ貼ってある上着を着ることによって、何とかしのいでいる。だけど、これでは不便なので、研究室は今、もっと画期的な方法を検討しているんだよ。

もちろん、今建設中のスポーツセンターは、暖房設備がある。壁も外の冷気を伝わらせないように、熱に鈍い木材を使っている。

実験として先日、エベレストの登山チームが火星トレイニングを体験してみた。彼らの話によると、初めはかなりの頃は、ゆっくり歩くだけでも息切れがするそう。しかし二週間もたつと、一キロメートルほどのジョギングができるようになるらしい。要するに、効果てきめんというわけだ。

このスポーツセンターは、もう間もなく完成する。だから今度のオリンピックは、きつと今まで以上の熾烈な戦いが見られるだろうね。なにしろ、火星で鍛えた選手たちだもの。

未来の私はそう話し終えると、ニヤリと笑った。いや、私自身が笑ったのかもしれない。するとその時、もう一人の私の顔はほやけた。そして私は、また例の気の遠くなるような感じに襲われた。

気がつくときそこは、私の部屋。目の前には、さつき見ていた火星の写真があった。私はその写真に向かって、小さく呟いた。  
「あなたは、そのうちもっと近くなるよ。」

はるか遠くでは、火星ともう、人の私が笑っていた。

# 財日本宇宙フオーラム理事長賞●小学生部門

## 「元氣星が、一番」

各務原市立鶴沼第二小学校3年 榎本 祐子

今から二十年たって、二十九才になったわたしは、その日、元氣星へ行こうと思いましたが、ひ行場まで動く道路を使って、そこからうちゅう船にのるのです。

わたしは、つかれた時に元氣星へ出かけます。わたしの様に時々休みに行く人と、むこうに住んでしまっている人たちもいます。仕事でつかれていても、元氣星で「いきすと、体がうかびあがってうきうきした気持ちになります。」

元氣星には、地きゆうにない七色の花がたくさん咲いています。いいかおりがして、空気がすっきりとしているのです。元氣星の木は、どの木もかわった食べ物になります。そして、木のえだからは、ふしぎな空気が出ています。そのうちの一本は、太くて、大きな「うろ」があります。うろの中には、いろいろな動物が住んでいて、ふしぎなことにその木のえだは、はしこのようにはえていて、動物たちにもほりやすくなっています。子どもたちもつかまって遊びます。大人になったわたしは、(地きゆうにも、こんな木や花があればいいのになあ)と思って見ているのです。

草は、つるがすくすくのびています。それでよくころぶ人がいます。でも、草がやわらかくつつんでくれて、ぜんぜんいたくありません。光った緑色がくつき、ますます元氣が出てきます。ねる所につるの上をえらんだり、大きなうろでねむったりしますが、夜の空はあたたかいのでいいじょうぶです。

地きゆうにあつて、元氣星にない物があります。それは石です。元氣星ではころんでもいたくないのは、石がないことと、光った草と、ふしぎな空気のためです。でも反対に、元氣星にはあつて、地きゆうにない物もあります。七色の花や、食べ物なる木や、大きなうろがあるはしこの木などふしぎな物ばかりです。そして一番ふしぎなのは、ゲッターした人も元氣にしてしまう空気のせいです。

元氣星には、学校やたて物がないので、子どもたちは遊んでばかりいます。木の実を食べたり、のぼりきようそうをします。元氣星で、けんかをしている人はだれもいません。空気が気持ちよすぎて、けんかはできないのです。だから、泣く人も一人もいません。元氣星にいと、わたしの耳には、いつもみんなのわらい声がつまっています。

(なぜ、この星だけは、こんなきれいな空気がつたわっているんだろう。地きゆうにもこんな空気をわけてほしいな)と、わたしは思います。元氣星は名前のとおり、仕事でつかれたり、いやな気持ちになった人に、元氣をあたえ、みんなが楽しくくらす空

気をおくってくれます。だから、ずっと昔から住んでいてもあきないという人がいっぱいいます。今、九才のわたしも、いつかきつと元氣星に行けるとしんじています。その時までがんばって、すてきな大人になりたいと思います。

# 財日本宇宙フオーラム理事長賞●中学生部門

## 「宇宙での生活」

八戸市立下長中学校3年 河原木 佳子

夏休みに、僕は生まれて初めての宇宙旅行を経験した。宇宙旅行といっても、一日二日の短い旅行だ。

宇宙船の窓からその星が見えた時、僕は驚きのあまり言葉も失った。星全体が水晶のようなカバで覆われていたからだ。けれど、何よりも驚いたのはまるで地球に帰ってきたかのような印象を受けたことだ。青い海に白い雲がうず巻き、その間から鮮やかな緑がのぞいている。この星の名は「アヤ」。(なんて美しい星だろう。)

僕は、一目でこの星が気に入ってしまった。透明な水晶のドアを通り抜け、僕はこの星に降りた。そして、ここに住む祖父を訪ねた。祖父は、この星を開拓して移り住んだ最初の人類の一人で、この星について何でも知っている。僕をここによんでくれたのも祖父だった。

次の日、祖父は海へ連れていってくれた。もちろん人工的につくられた海だけれど地球の海とほとんど変わらない。小さなクルーザーの上から見える水面は、これもまた人工的につくられた太陽の光を受けて、はねるように輝いている。しばらく進むと、船の横でたくさん水しぶきがあがった。

「イルカだ。」僕は船べりへ走り寄った。十頭ぐらいだろうか。なめらかな銀色の体で飛ぶように泳いでいる。イルカがいる海なんて、日本じゃ見たことがない。

祖父の許可がでると、僕はTシャツを脱ぎ捨てて早速海へとびこんだ。イルカたちはちっとも僕を恐がらず、珍しいやつだとばかりに僕を囲んで、一緒に泳ぎだした。瞳と瞳がふれ合い、とても不思議な魅力に包まれた。

ところが、異変に気付いたのはそれからまもなくだった。プシューという、うきわに穴があいた時のような音がして、僕の前を泳いでいた一頭がプクプクとした泡になり、あっという間に消えてしまったのだ。驚いた僕は、すぐに船へ戻り、祖父に話した。祖父は小さくため息をついて、僕にこう尋ねた。

「この星は美しいか？」

突然の質問にまどまどしていると、祖父は静かに、真実を語り始めた。

開拓時代まっさいちゅうのこの星には、地球から多くの人々がやってきた。水や空気

など生きるために必要な条件をある程度満たしている、地球以外の最初の星だったこの星は、全世界の注目を集めた。人々はこの星を手に入れるために、互いに憎しみ合い、いがみ合い、そして殺し合った。破壊、破壊、そして破壊。殺戮、殺戮のくり返し。そして最後に訪れるのは一切の死。人々がやつと気付き始めたとき、この星は血と炎と沈黙に満たされており、もはや何も産みださなくなっていた。「アヤ」という名前には、「廢墟の山」という意味があるのだと祖父は言った。

「でも、僕はこの星が、緑が豊かなのを見ました。」

僕がそう言うと、祖父は、「何かの動物が、この星の植物を食べているところを見たことがあるか。」と聞いた。そういえば、一度もない。

「この星の植物は、決して食べることはできない。ここで死んだ、救えきれないほどの人間の血が、この土地にはしみこんでいる。そんな土地から生えだした植物が「生」を与えることなどできないのだ。」

「じゃあ、動物はどうやって生きているの？」

「この星には、動物はいない。さつき一緒に泳いだイルカも、この空を飛んでいる鳥たちも、すべて我々が造りだした人形なのだ。」

僕には信じられなかった。この星の東側にある大きな工場で、すべての「動物」が造られているのだという。開拓者たちは、この星を第三の地球とするため、超科学の力で「動物」を造っているのだ、と。

「けれど、生命を造ることなど不可能だった。生命というものは宇宙の様々なリズムとの完璧なつり合いをとった呼吸作用によって維持されている。我々の造る生命はそのつながないため、酸素の摂取量を誤り、バンク状態となって蒸発してしまうのだ。」

イルカが泡になったのは、そのためだったのだ。僕はずっと黙っていた。

そして二時間後、僕はアヤから地球行き宇宙船に乗りこんだ。

「それじゃあ、体に気をつけて。」

宇宙船は離陸した。アヤがどんどん遠くになっていくのを見ながら、僕は一人考えていた。この星は、本当に美しいだろうか、と。

# 財)日本宇宙少年団理事長賞●小学生部門

## 「土星のリング」

旭川市立緑新小学校2年 竹田 圭佑

ぼくは、ちきゅうの日本のおかきいどうの旭川市のみどりがおかきにいます。学校のとしよつから、「わくせいをみよう。」という本をかりてきました。ぼくは、その本を見て、ちきゅうの色が、水色と白の色だと、わかりました。木星は、オレンジと白でした。天王星は、みどりと白でした。いろいろなわくせいの色がありました。ぼくのかんがえた空とぶ車で、ちきゅうをしゅっぱつして、いろいろなわくせいに行きたいです。

ちきゅうの色が、水色と白の色か、たしかめたいです。そらとぶ車は、ロケットよりもはやいし、ギザギザタイヤは、火星にある石や土の上をはしるタイヤです。あたたかそうちは、かせいにあるなんきよくでつかうものです。こおつたらこまるから、車の中とそとをあたたためるそうちです。はねかえしそうちは、どうめいで車せんたいをかこんでいます。これは、ながれほしがおちてきたら、そらとぶ車がこわれるから、はねかえすそうちです。

のこぎりは、車のまえについています。これは、ぼくがほしいわくせいのかけらをきるためについているんです。ぼくの家のへやに、わくせいのかけらといんせきをかざりたいです。うちゅうけいしたい電わをいっばいもつていって、うちゅう人にわたして、ぼくの電わばんごうをおしえてあげます。そらとぶ車には、アンテナもついてます。アンテナは、とおいところのうちゅう人とはなせるアンテナです。それと、うちゅう人は、うちゅうごをはなします。ぼくは、うちゅうごはわからないから、けいたい電わの日本このスイッチをおせば、うちゅうごが日本こにきこえます。ぼくは、電わでうちゅう人とおはなしします。そして、天王星のまん中で、土星と木星とめい王星のうちゅう人とキャンプをしたい

です。

土星は、ぼくがいちばんすきなわくせいです。土星人は、あたまの上に、リングがついてると思います。木星人も天王星人もそうだと思います。土星のリングは、氷と岩のかけらで、できているので、すごいと思います。木星と天王星は、そとがわにうすいリングがあります。そらとぶ車に、はんしやばうえんきょうをのせて、木星と天王星と土星のリングをかくで見たいです。わくせいのたつじんに、なりたいです。

# 財)日本宇宙少年団理事長賞●中学生部門

## 「二〇一〇年の夢」

私立新島学園中学校2年 小山 修平

「君の好きなものは何ですか？」と聞かれたら、ぼくは迷わず、「生き物を含めた自然と宇宙。」と、即座に答えるだろう。それほどぼくは、自然と宇宙に限りない興味と夢を感じる。星空を眺めている時は、いつも何もかも忘れて、ぼくの宇宙物語を自作してしまう。

五月十日金曜日、「修平君、今日は空ばかり眺めているようですが、どうかしたの？」と、突然担任の一倉先生の声に、ぼくの方がびっくりしてしまいました。実は今日、南牧村にある天体望遠鏡を見に行くことになっているんだ。中学生になつてから、部活や中間・期末試験などで結構忙しく、星をゆっくり見たいと思っても、なかなか都合がつかず、両親の都合と合わなかったり、天気が悪くて中止とかで、二ヶ月近くもチャンスの到来を待ちわびていたのだ。

南牧村にある望遠鏡は、ぼくの望遠鏡とはけたはずれに違う。三十七センチニュートン式望遠鏡で、パソコンを使って見たい星が簡単に入ってくるので、本当にありがたい。父の車で、二時間と十五分、長野県佐久市に近い南牧村に着いた頃には、日はとっぷりと暮れ、見上げると満点の星空。ラッキー。ぼくは、まずパソコンを白鳥座の口ばしの所に輝く二重星アルビレオに設定した。

望遠鏡には、赤っぽい色の星と青色の星が飛び込んできて、この二つの星の神秘さと調和の美しさについて、我を忘れ入ってしまった。乾ききったのに、冷たい水を流し込んだような満足した気持ちで、いよいよぼくが行って見たい星、こと座のベガにパソコンを合わせる。なんとなく、マウスを握る手がワクワクして、すばやく動いてしまふ。

ベガは、夏の夜空で一番明るい星。七夕の織姫星として有名な星さ。実は、このベガの回りに、小惑星らしいものがあるって、赤外線観測衛星アイラスによって、最近確信されたんだ。そこには、地球と同じような条件の星、つまり生命が息づいている星があるのではないかと、話題になったんだ。もちろん、ぼくは、ぼくたちのこの地球より、もっと文明の進んだ生命体が生きている星があると思うんだ。それがベガロン星なんだ。このベガロン星は、全く地球と条件が酷似しているんだ。そして、偶然にも地球より百年時間が進んでいて、そこには、文明が栄えダーウィンの進化論を立証するがごとく、高等生物ベガロン星人が、この星を支配し、地球と同様、素晴らしい森、川、海、山という自然が、開発という名のもとに破壊され、数多くの貴重な生命体を、絶滅の危機に

おとしられ、ベガロン星人そのものの存続すら危ぶまれていたんだ。

ところが、ベガロン星人は、他の生命体との共存共生、自然との共存が、いかなるものより大切なんだということを悟り、文明、開発の道から、共存共生の道へと百八十度方向転換し、現在は、その星に生きている生命体一つ一つが大切にされ、その事によって、数多くの生物がよみがえり、これまでに気づかなかった幸せを倍加させているんだ。

ぼくは、ベガロン星人の暮らしぶりや、方向転換への鍵などを、ベガ宇宙国際大学教授ベガロン博士に教えてもらう約束をしたんだ。二〇一〇年、ぼくが十七歳の時だ。ぼくのふるさと「地球」を、いつまでも水と緑の星として宇宙に残していきたいからなんだ。

今日の五時間目、国語の授業で、辰濃和男さんの「緑の長城はできるか」という論説文を勉強した。この緑の長城計画とは、中国の東北、華北、西北の七千キロに及ぶ砂漠や荒地を、緑の草原、農地に変えて、砂漠の拡大を抑えこもうという仕事だ。著者辰濃さんも、乾ききった山肌を見て、そんなことは、夢また夢と思えてきたそうなんです。

しかし、中国科学院砂漠研究所の副所長郎さんが、砂漠に黄河の水を引いて、積もった土が一年に一センチ。一年に「センチずつ」の小さな営みだけれど、緑の長城を築くため、五十年、百年後の夢を追っている姿にぼくは感動した。ぼくも将来、郎さんと一緒に地球の緑化活動に取り組み、宇宙から緑のライン、そうだ！「緑の長城」を見るんだ。

二〇一〇年、インターネット宇宙局は、「日本で十人目の宇宙飛行士、小山修平が人類の夢だった、宇宙人ベガロン博士と会談。地球にも友人星が現れた」というニュースで、もちつきりだ。

いよいよベガロン星からの帰路、スペースシャトル「ベガ一号」の小窓から地球を見るとき、なんと緑の長城が。「わあ、やったぞ。緑のラインだ。あ、アマゾン流域の熱帯雨林地帯にも、緑のジュエータンが。」あまりのうれしさに、涙がこぼれそうになった。ぼくは、ぼくのふるさと「地球」にむかって、大きく大きく手を振った。

# 各科学館入賞者一覽●小学生部門

## 札幌市青少年科学館

優秀賞「私の住みたい星と夢」池田 伸吾 札幌市立北小学校5年  
佳作「わたしのゆめの星」八木 和泉 札幌市立東橋小学校4年

## 室蘭市青少年科学館

優秀賞「わたしの住みたい星と夢」佐藤 祐樹 室蘭市立中島小学校2年  
佳作「わたしの住みたい星」渡辺 理絵 室蘭市立中島小学校2年  
「わたしの住みたい星」小田島純子 室蘭市立中島小学校2年  
「わたしの住みたい星」安藤 恵理佳 室蘭市立白鳥小学校4年  
「わたしの住みたい星」渡辺 真希 室蘭市立知利別小学校4年

## 苫小牧市科学センター

優秀賞「宇宙へ行けたら」藤島奈津子 苫小牧市立明野小学校5年

## 釧路市青少年科学館

優秀賞「行ってみたい星」船越 郁美 釧路市立日進小学校6年  
佳作「行ってみたい星」石川 洋平 釧路市立東栄小学校4年  
「行ってみたい星」柴田 愛子 釧路市立白樺小学校3年  
「行ってみたい星」佐藤 史典 釧路市立鶴野小学校4年  
「わたしの住みたい星」伊藤 翼 釧路市立日進小学校6年  
「わたしの住みたい星」三浦加奈枝 釧路市立昭和小学校3年

## 旭川市青少年科学館

優秀賞「上のリンゴ」竹田 圭佑 旭川市立緑新小学校2年  
優秀賞「しあわせが、いっぱい」紀室 志帆 旭川市立青雲小学校3年  
「けんご星」森明日樹 旭川市立緑新小学校4年  
「ホテルといっしょに見る地球」前田真希子 旭川市立愛宕東小学校4年  
「宇宙にテーマパークを」山田 友子 旭川市立神楽小学校6年  
「私の行ってみたい星」

## 八戸市視聴覚センター・児童科学館

優秀賞「月へ遠足」佐々木信賢 八戸市立明治小学校3年  
優秀賞「わたしのゆめ」恩賀あゆみ 八戸市立中野小学校2年  
「うちゅうでんごう会」吉里朋子 八戸市立青潮小学校2年  
「私のゆめをほし」大山 朋子 八戸市立青潮小学校2年  
「さゆみせい」京谷咲有美 八戸市立青潮小学校2年  
「子どもだけのほし」山川 徳高 八戸市立青潮小学校2年

## 秋田県立子ども博物館

優秀賞「次星の拾得」池村 怜 秋田市立明徳小学校5年  
優秀賞「天国みたいな星」須藤 駿 西仙北町立刈野小学校3年  
佳作「ほくの行ってみたい星」相原 保隆 秋田市立北小学校6年

## 秋田県立農業科学館

優秀賞「うちゅうの川」高川 真央 大曲市立大川西根小学校1年  
佳作「私の住みたい星 住みたい星」高川 有希 大曲市立大川西根小学校6年  
「宇宙のそと」品川 有希 大曲市立大川西根小学校6年  
「未来の宇宙へ大旅行」山口美葉子 大曲市立大川西根小学校6年

## 角田市スペースタワー・コスモハウス

優秀賞「ようこそ！のびのび星へ」中里 郁年 柴田町立船迫小学校3年  
優秀賞「私の住みたい星は」鎌田 志穂 柴田町立船迫小学校6年  
「うちゅう人に会えたらいいなあ」いとうまよか 角田市立横濱小学校2年  
「宇宙のひみつとは？」山家 初美 白石市立白石第一小学校6年  
「ほくの住みたい星」舟山 和文 角田市立北郷小学校5年  
「わたしの住みたい星」菅野 亮 角田市立桜小学校6年

## 仙台市科学館

優秀賞「もしもうちゅうにすんでいたら」渡辺 西 仙台市立南小学校2年  
優秀賞「ほくの住みたい星」渡谷 和樹 仙台市立南小学校3年  
「ほくのりょう星」植田 耕太 仙台市立北郷台小学校3年  
「旅してみたい星」中山ひとみ 亘理町立藤沢小学校6年  
「住みたい星」菅野 大恵 仙台市立南小学校4年  
「私の住みたい星」藤平 麻子 仙台市立南小学校5年  
「私の住みたい星」

## 郡山市児童文化会館

優秀賞「うちゅうの夢」高橋 美華 川俣町立福原小学校1年  
優秀賞「私が住みたい星」松本奈津子 いわき市立第一小学校6年  
「旅してみたい星」持塚 直人 いわき市立第二小学校6年  
「私の住みたい星」柳内 愛 郡山市立南小学校6年  
「スポーツの星と私の星」阿部 克也 郡山市立根木小学校5年  
「私の住みたい星」藤平 麻子 仙台市立南小学校5年

## つくばエキスポセンター

優秀賞「宇宙の神秘(向かって)今井裕子子 つくば市立高野小学校6年  
優秀賞「わたしがいきいきいうちゅう」李 允媛 つくば市立高野小学校5年  
「天の川をわたりたい」大園 光佑 葛城町立葛城第一小学校6年  
佳作「日、ぱいあるうちゅう」園田 忠 下妻市立高道南小学校5年  
「わたしのすてい星」吉原 梨葉 真壁町立野尾小学校5年  
「ほくの住みたい星」水野ケイシ 上野市立神立小学校5年

## 栃木県子ども総合科学館

優秀賞「わたしの住みたい星」高瀬 賢子 出羽町立栃木小学校6年  
優秀賞「ほくの住みたい星」安川 典孝 宇都宮市立宮の原小学校4年  
「わたしの行ってみたい星」大見 恵莉 河内町立岡本北小学校5年  
「わたしのすてい星」柴本 優子 小山市立小山北小学校3年  
「未来の宇宙はさくら」福田 大輔 鹿沼市立みなみ小学校6年

## 館林市子ども科学館

優秀賞「ほくの住みたい星」小堀 敬家 館林市立第一小学校3年  
優秀賞「うさぎの星」小島 麗那 大泉町立北小学校2年  
「私の宇宙旅行」桑原 美林 館林市立第一小学校3年  
「わたしの住みたい星」小林 恭平 館林市立第一小学校3年  
「自然の世界」藤塚 香美 前橋市立桂野小学校2年  
「わたしの住みたい星」藤原 里枝 大泉町立北小学校1年

## 埼玉県越谷市立児童館コスモス

優秀賞「私の住みたい星」山崎 雄輔 越谷市立大沢北小学校6年  
優秀賞「ほくの住みたい星」水谷 舞 越谷市立出羽小学校3年  
「私の住んでみたい星」坂口可奈子 越谷市立南生第一小学校6年  
「動物と仲よくできる星」伊津野優美 越谷市立大沢小学校4年  
「こんな星があつたらいいな」中野このみ 越谷市立南生第一小学校6年  
「さあ宇宙へ旅しよう」猪瀬 裕未 越谷市立南生第一小学校6年

## 浦和市青少年科学館

優秀賞「私の理想の星」藤崎 美那 浦和市立神田小学校6年  
優秀賞「宇宙へのたび」吉見 博之 浦和市立大東小学校5年  
「星の中にいろいろ変わった星がたくさんある星」平尾 優美 浦和市立神田小学校5年  
「宇宙に住んでみたい星」谷 佑希子 浦和市立大東小学校5年

## 大宮市宇宙劇場

優秀賞「新たな友の住む星へ」小野沢恵美 大宮市立大宮小学校6年  
優秀賞「もつと知りたい、すていなあー」小泉 智之 大宮市立片柳小学校2年  
「私だから」吉田 裕美 大宮市立大宮小学校6年  
「ほくのすてい星」竹内美奈子 大宮市立海濱小学校2年  
「機かいてくいなターミナル」内村 直生 大宮市立上小学校4年  
「重松 輝史 大宮市立上小学校4年

## 千葉市立郷土博物館

優秀賞「もしもうちゅうに行けたら」大野 博子 千葉市立京南小学校4年  
「私の住んでみたい星 行ってみたい星」古川 愛 千葉市立千城小学校6年  
「わたしのうちゅう」山中 優 千葉市立生浜東小学校5年

## 東芝科学館

優秀賞「ほくが生活したい星」三浦久美子 横浜町立駒形小学校3年  
「住んでみたい星」谷津 慶良 日根区立立野小学校6年  
「住んでみたい星」久保田みほ 横浜町立立野小学校6年  
「住んでみたい星」鈴木 響子 日根区立立野小学校5年  
「住んでみたい星」佐村 洋子 日根区立立野小学校6年  
「私の理想の星」栗嶋 葉子 川崎市立下河原小学校5年

## 飯田市美術博物館

優秀賞「わたしの住みたい星と夢」佐々木和貴子 阿南町立宮原小学校5年  
「恐龍のいる星に行きたい」清水 純乃 飯田市立海光寺小学校5年  
「わたしの住みたい星」酒井 亮祐 飯田市立松岡中央小学校5年  
「緑いっぱい星の国」青木 由佳 飯田市立松岡小学校5年  
「私の住みたい星はペンギン星」高木 奈央 飯田市立松岡小学校5年  
「わたしの住みたい星はペンギン星」小林 加奈 阿南町立下河原小学校5年

## (財)大町エネルギー博物館

優秀賞「ほくの住みたい星」春日 宏明 大町市立大町北小学校3年

## 半田市の科学館

優秀賞「私の住みたい星 住みたい星」堀 麻衣子 大町市立大町北小学校6年  
「私の行ってみたい星 住んでみたい星」北澤 美保 大町市立大町西小学校6年  
「私の住んでみたい星」石原 明子 大町市立大町西小学校6年  
「私の住んでみたい星」山田 千晶 大町市立大町西小学校6年

## 岐阜市科学館

優秀賞「銀河旅行社へようこそ」浜口 智之 穂積町立穂積小学校6年  
「私の住んでみたい星」栗田多美子 岐阜市立長森北小学校6年  
「もうすぐあがりの星が」栗本 高行 岐阜市立則武小学校6年  
「上星に町をつくらたい」山田 祐平 岐阜市立則武小学校4年  
「地球に似た星を流したい」宮本 咲季 岐阜市立長森北小学校6年  
「オリンピックを月でやろう」山本 祐介 岐阜市立京町小学校3年

## かかみがはら航空宇宙博物館

優秀賞「元氣宇宙に」栗本 祐子 各務原市立鶴沼第一小学校3年  
「ゆめの星と木星」和田 成晃 各務原市立加那第一小学校3年  
「わたしの住みたい星」塚田 純子 各務原市立各務小学校4年  
「わたしの住みたい星」津田 里美 各務原市立鶴沼第二小学校3年  
「わたしの住みたい星 住みたい星」水谷 友紀 各務原市立加那第一小学校3年

## 姫路科学館

優秀賞「わたしの住みたい星 食料が不足しない星」梅畑優貴子 奈良市立佐保南小学校6年  
「わたしの住みたい星」矢野 聖太 大泉町立北小学校1年  
「わたしの住みたい星」井川 登人 姫路市立西小学校5年  
「わたしの住みたい星」緒方 真美 姫路市立藤原小学校5年  
「わたしの住みたい星」小林 珠季 姫路市立藤原小学校5年  
「わたしの住みたい星」高家 健輔 姫路市立津茂小学校6年  
「わたしの住みたい星」河田 麻未 姫路市立南大津小学校5年

## 富山市科学文化センター

優秀賞「私の理想の星」岡村菜々子 富山市立五福小学校6年  
「わたしの理想の星」加藤 史彬 富山市立星野小学校1年  
「わたしの住みたい星」飯田 光 富山市立山宮中部小学校5年  
「わたしの住みたい星」藤田 貴弘 富山市立東田小学校5年  
「わたしの住みたい星」道谷 鶴子 富山市立愛宕小学校3年  
「水せい」岡本 由利 福井市立高田小学校5年

## 生駒市宇宙科学館

優秀賞「うちゅうのうた」みねゆかり 大和郡市立生駒南小学校6年  
「おもちゃ星」岡崎 愛 生駒市立生駒小学校5年  
「わたしの理想の星」地迫 悠菜 生駒市立真竹小学校4年  
「わたしの理想の星」菊池 礼忠 生駒市立生駒小学校6年  
「わたしの理想の星」木村 達哉 生駒市立真竹小学校4年  
「わたしの理想の星」まさ野わか子 大和郡市立生駒南小学校6年

## 大阪科学技術館

優秀賞「わたしの住みたい星」奈良市立佐保南小学校6年  
「わたしの住みたい星」梅畑優貴子 大泉町立北小学校1年  
「わたしの住みたい星」矢野 聖太 大泉町立北小学校1年  
「わたしの住みたい星」井川 登人 姫路市立西小学校5年  
「わたしの住みたい星」緒方 真美 姫路市立藤原小学校5年  
「わたしの住みたい星」小林 珠季 姫路市立藤原小学校5年  
「わたしの住みたい星」高家 健輔 姫路市立津茂小学校6年  
「わたしの住みたい星」河田 麻未 姫路市立南大津小学校5年

# 各科学館入賞者一覧●中学生部門

## 広島市子ども文化科学館

- 最優秀賞「くしてみた星」  
増田 隆昌 広島市立比治町南小学校6年  
優秀賞「私の夢「宇宙でスキューバ」」  
岩本 優子 広島市立比治町南小学校6年  
「フリアム・スター」(ようこそ)  
山本由香利 広島市立比治町南小学校6年  
作「宇宙旅行 夢ぼうけ」  
明賢 裕紀 広島市立比治町南小学校4年  
「わたしの住みたい星」  
松本 麻未 広島市立比治町南小学校4年  
「夢のようでもできる」  
福井 梓 広島市立比治町南小学校6年

## スペースワールド内宇宙博物館

- 最優秀賞「こんな星があつたらいい」  
渡辺 将人 知多町立知多小学校4年  
優秀賞「はじめは、楽しい、楽しい、楽しい」  
長友真奈美 宮崎市立生田東小学校5年  
「私の行きたい星 住みたい星」  
東 早希 知多町立知多小学校5年  
作「わたしの住みたい星」  
新垣さやか 中城村立津野小学校4年  
丸山 美幸 中川市立成田野小学校4年  
高山 佳 中川市立成田野小学校4年  
「わたしの住みたい星」  
高山 佳 中川市立成田野小学校4年

## 佐世保市児童文化館

- 最優秀賞「こんな星があつたらいい」  
佐藤 由季 佐世保市立久保小学校5年  
優秀賞「楽園の星」(ペグ)  
野中 麻生 佐世保市立潮見小学校6年  
武富 祐未 佐世保市立久保小学校5年  
伊藤 知雄 佐世保市立八幡小学校5年  
作「行きたい星の住みたい星」  
水井 洋之 佐世保市立潮見小学校5年  
「ぼくの好きな星」  
松崎 泰樹 佐世保市立久保小学校5年

## 札幌市青少年科学館

- 最優秀賞「理想の星」  
鈴木 賢 札幌市立西岡北中学校3年  
作「理想の星」  
八戸市視覚センター・児童科学館  
最優秀賞「宇宙での生活」  
河原本佳子 八戸市立下長中学校3年  
優秀賞「宇宙でのネバーエンディングパケージ」  
齊藤ちひろ 八戸市立下長中学校2年  
相場友紀子 八戸市立市川中学校1年  
鳥谷幸英花 八戸市立下長中学校3年  
高村 久美 八戸市立市川中学校1年  
若城 優子 八戸市立市川中学校3年

## 秋田県子ども博物館

- 最優秀賞「未来の宇宙」  
佐藤和佳子 釜石市立甲子中学校2年  
作「サファイア色の木星」  
「さまじき宇宙」  
島谷幸英花 八戸市立下長中学校3年  
高村 久美 八戸市立市川中学校1年  
若城 優子 八戸市立市川中学校3年

## 角田市スペースタワー・コスモハウス

- 最優秀賞「自分の行きたい星」  
大槻 克己 角田市立西根中学校3年  
優秀賞「自分の行きたい星」  
中村 耕史 新島市立五ノ風中学校2年  
大槻佳代子 角田市立北角田中学校3年  
吉田 愛 角田市立北角田中学校3年  
平 真由美 柴田町立船通中学校3年  
本田奈緒子 角田市立北角田中学校2年

## 郡山市児童文化会館

- 最優秀賞「宇宙を自由に飛び回れたら」  
阿部 雄一 郡山市立大槻中学校3年  
阿部 剛 郡山市立大槻中学校1年  
作「僕の行きたい星」  
つくばエキスポセンター  
最優秀賞「宇宙にむかう前に」  
坂寄 良一 つくば市立筑波南中学校2年  
優秀賞「私の行きたい星 住みたい星」  
首野 靖雄 伊奈町立伊奈東中学校2年  
春日 結美 千代田町立千代田中学校3年  
三島 彰 伊奈町立伊奈東中学校2年  
小沙 澄子 千代田町立千代田中学校3年  
小貴 友絵 千代田町立千代田中学校1年

## 館林市子ども科学館

- 最優秀賞「○○年の夢」  
小山 悠平 私立新島学園中学校2年  
優秀賞「私の旅してみたい星」  
藤本 美香 館林市立第一中学校1年

## 埼玉県越谷市立児童館コスモス

- 最優秀賞「僕の住みたい星(ベスト)」  
佐藤 智也 越谷市立平野中学校3年  
優秀賞「宇宙について考える」  
沢崎 友美 越谷市立光岡中学校2年  
「不思議な星(日記)」  
川崎みのり 越谷市立平野中学校3年  
作「未来宇宙」  
加藤 勇喜 越谷市立平野中学校1年  
井田 香苗 越谷市立光岡中学校2年  
下巻 徹 越谷市立平野中学校1年

## 浦和市青少年宇宙科学館

- 最優秀賞「ぼくがいつか行きたい星」  
福田 主輔 川口市立若木中学校1年  
大宮市宇宙劇場  
最優秀賞「月での日常」  
矢沢 敏 大宮市立宮原中学校1年  
優秀賞「私の宇宙旅行」  
西尾 三鈴 大宮市立片柳中学校2年  
「大空を人飛行」  
中川 健友 大宮市立宮原中学校1年  
作「宇宙」  
青藤 智之 大宮市立宮原中学校2年  
「僕達の夢とこれからの宇宙開発」  
青藤 史史 大宮市立宮原中学校2年  
「未来の夢とこれからの宇宙」  
藤澤 俊平 大宮市立宮原中学校1年

## 千葉市立郷土博物館

- 最優秀賞「ぼくがいつか行きたい星」  
福田 主輔 川口市立若木中学校1年  
多摩六部科学館  
最優秀賞「私が行きたい星 住みたい星」  
斎藤 光代 板橋区立志村第四中学校1年  
優秀賞「夜の夢」  
久保田由子 飯田市立緑ヶ丘中学校1年  
優秀賞「美しい約束」  
下平 剛志 飯田市立緑ヶ丘中学校3年  
尾野 寛明 飯田市立緑ヶ丘中学校2年  
小林 彩子 飯田市立緑ヶ丘中学校1年  
吉田 美香 飯田市立緑ヶ丘中学校3年  
櫻井 智恵 清内町立清内町中学校3年

## 飯田市美術館

- 最優秀賞「夜の夢」  
久保田由子 飯田市立緑ヶ丘中学校1年  
優秀賞「美しい約束」  
下平 剛志 飯田市立緑ヶ丘中学校3年  
尾野 寛明 飯田市立緑ヶ丘中学校2年  
小林 彩子 飯田市立緑ヶ丘中学校1年  
吉田 美香 飯田市立緑ヶ丘中学校3年  
櫻井 智恵 清内町立清内町中学校3年

## 飯田町エネルギー博物館

- 最優秀賞「僕達の地球」  
阿部 孝洋 私立佐久長形中学校1年  
優秀賞「大空改良計画」  
高藤 大樹 私立佐久長形中学校1年  
平原さやか 私立佐久長形中学校1年  
村伸 由佳 私立佐久長形中学校1年  
久保 若菜 私立佐久長形中学校1年  
「やさしい星」  
私が行きたい星 住みたい星  
沢藤 智美 私立佐久長形中学校1年

## 半田空の科学館

- 最優秀賞「宇宙を身近なものに」  
早川 依利 半田市立乙川中学校2年  
優秀賞「私の住みたい星 心の中心の星」  
米山 知里 半田市立乙川中学校3年  
吉田 舞 半田市立乙川中学校3年  
作「宇宙旅行記」  
渡島 幸男 半田市立青山中学校1年  
鈴木まどか 阿久比町立阿久比中学校3年  
山内 康貴 阿久比町立阿久比中学校1年

## 岐阜市科学館

- 最優秀賞「火星トレッキング」  
坂井 野々 岐阜市立本荘中学校2年  
優秀賞「理想の星を探して」  
二村はるか 岐阜市立良中中学校2年  
千英伊津美 岐阜市立良中中学校3年  
渡藤 友恵 岐阜市立長良中学校1年  
中村 倫子 岐阜市立長良中学校1年  
「宇宙の月」  
岐阜市・柳津町組合立瑞穂中学校2年  
平光 舞 岐阜市・柳津町組合立瑞穂中学校2年

## 富山市科学文化センター

- 最優秀賞「虹色に輝く星」  
杉本 貴文 富山市立三成中学校2年  
優秀賞「宇宙船と僕の旅」  
清水 拓磨 富山市立月岡中学校1年  
生駒山宇宙科学館  
最優秀賞「自分の住みたい星」  
河野 晋也 生駒市立生駒中学校2年  
優秀賞「行きたい星 住みたい星」  
岩田 直大 生駒市立生駒南中学校1年  
「夢の宇宙旅行」  
河内 康展 生駒市立上中学校1年  
戸室 綾佳 生駒市立生駒中学校2年  
元好 賀子 生駒市立生駒中学校2年  
「火星人よ、こんにちは」  
谷口 祐治 生駒市立上中学校1年  
「星を探して」

## 大阪科学技術館

- 最優秀賞「目を閉じれば」  
大谷 和子 大阪市立成陽中学校2年  
優秀賞「自然の多い星」  
朴 秀明 尼崎朝鮮初中級学校1年  
「もう一つの地球」  
池 優奈 尼崎朝鮮初中級学校1年  
作「プラクティカル」  
池 慶治 尼崎朝鮮初中級学校1年  
「名前のない星」  
鄭 美淳 尼崎朝鮮初中級学校1年  
「フライト」  
崔 鈴子 尼崎朝鮮初中級学校1年

## 姫路科学館

- 優秀賞「丸とてな」  
福岡 学 私立浮心学院中学校2年  
「宇宙のガラス」  
井上 理恵 姫路市立瀬中学校2年

## 広島市子ども文化科学館

- 最優秀賞「もう一つの地球」  
長谷部百加里 広島市立清和中学校3年  
優秀賞「宇宙の旅」  
河野 愛 広島市立青島中学校1年  
「寝る前に考える」  
浜本 健 広島市立白田中学校3年  
作「魅力のつまった宝物」  
佐々木由美 広島市立白田中学校3年  
「平凡なハッピー」  
反田由理 広島市立青島中学校1年  
山下孝太郎 広島市立豊原中学校2年

## 交通科学館

- 最優秀賞「誰もが歩く住める星」  
織 恵美子 宮崎市立本郷中学校1年  
優秀賞「自分の考える住みたい星」  
田崎 隆介 宮崎市立本郷中学校2年  
スペースワールド内宇宙博物館  
最優秀賞「宇宙の未来」  
糸洲 守康 南大東村立南大東中学校1年  
木下 香織 石垣市立富野中学校1年  
「こんな地球だけじゃ」  
河口めぐみ 石垣市立富野中学校1年

# 「全国小・中学生作文コンテスト」実施記録

「全国小・中学生作文コンテスト」は平成8年「宇宙の日」記念行事の一環として全国の小・中学生を対象に「私の行きたい星・住みたい星」をテーマに宇宙開発に対する夢や希望を喚起するために実施いたしました。

## 募集要項

テーマ 「私の行きたい星・住みたい星」  
 テーマ 全国の小・中学生  
 応募資格 平成8年7月8日(月)〈当日必着〉  
 応募締切 400字詰め原稿用紙215枚程度。作品には必ず、応募用紙または住所(フリガナ)・氏名(フリガナ)・電話番号・学校名・学年・年齢・応募科学館名を明記した用紙を添付し、最寄りの科学館にお送りください。応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。なお、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はできませんのでご了承ください。

審査表 参加科学館および「全国小・中学生作文コンテスト」審査委員会にて厳正に審査します。各賞の入賞者に直接通知します。

## 賞および副賞

各科学館により選定される賞および副賞

最優秀賞(各部門1点)	小宮城での月面観測に 夜光精密月面図
優秀賞(各部門2点)	見たい星座がすぐわかる 日時計付き星座早見盤
佳作(各部門3点)	星座模様で勉強しあくなる 星座パズル色鉛筆

なお、応募者全員に参加賞として「オリジナル下敷き」を用意しました。

各科学館の最優秀賞の中からさらに選定される賞、および副賞

科学技術庁長官賞 (各部門1点)	宇宙への夢が膨らむ 60mm経緯台天体望遠鏡
文部省宇宙科学研究所長賞 (各部門1点)	フロアタイプ、照明付き地球儀 スキヤングノーズ
宇宙開発事業団理事長賞 (各部門1点)	天体観測はちもんめん パイルドアップのなにも大活躍 ファイルドスコップ
(財)日本宇宙フォーラム理事長賞 (各部門1点)	元氣いっぱい野山を駆け回る マウンテンバイク
(財)日本宇宙少年団理事長賞 (各部門1点)	最大90倍、カメラホルダー付き顕微鏡 ミクロシヨット900

## 主催

科学技術庁

〒100 東京都千代田区霞ヶ関2-2-1

文部省宇宙科学研究所

〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1  
電話0427-511-3911

宇宙開発事業団

〒105 東京都港区浜松町2-4-1  
電話03-35470-4111

(財)日本宇宙フォーラム

〒105 東京都港区浜松町1-7-1  
電話03-34459-1651

(財)日本宇宙少年団

〒103 東京都中央区日本橋兜町1-7-2  
電話03-3669-7480

## 応募総数

小学生部門 2999点  
 中学生部門 914点  
 合計 3913点

## 審査委員(敬称略)

審査委員長 宮腰 賢 東京学芸大学教授  
 審査委員 土屋 惇子 東京学芸大学付属小金井小学校校長  
 和田 光生 慶應義塾普通部教諭  
 中西 章 科学技術庁研究開発局宇宙政策課調査国際室長  
 村上 浩 文部省宇宙科学研究所  
 丹尾 新治 宇宙開発事業団総務部広報室長  
 網脇 和義 (財)日本宇宙フォーラム常務理事  
 清水 眞金 (財)日本宇宙少年団専務理事

# 全国小・中学生絵画コンテスト入賞者一覽

## 小学生部門

科学技術庁長官賞

文部省宇宙科学研究所所長賞

宇宙開発事業団理事長賞

(財)日本宇宙フォーラム理事長賞

(財)日本宇宙少年団理事長賞

佳作

氏名	学校・学年	住所
田中栄理奈	姫路市立大津茂小学校・4年	兵庫県姫路市
恩賀あゆみ	八戸市立小中野小学校・2年	青森県八戸市
風間 勇樹	岐阜市立長良東小学校・5年	岐阜県岐阜市
加賀 雄太	柏村立柏小学校・3年	青森県西津軽郡
永井 美帆	角田市立角田小学校・6年	宮城県角田市
加賀 修平	柏村立柏小学校・5年	青森県西津軽郡
篠崎友利江	栃木市立寺尾南小学校・2年	栃木県栃木市
栢植加奈子	千葉市立高浜第三小学校・4年	千葉県千葉市
永島 克俊	大多喜町立西畑小学校・3年	千葉県夷隅郡
春木 奎	岡山市立西小学校・1年	岡山県岡山市
藤野 夢子	福岡市立箱崎小学校・3年	福岡県福岡市
本郷 裕太	姫路市立八幡小学校・1年	兵庫県姫路市
和田 裕路	札幌市立新光小学校・6年	北海道札幌市

## 中学生部門

科学技術庁長官賞

文部省宇宙科学研究所所長賞

宇宙開発事業団理事長賞

(財)日本宇宙フォーラム理事長賞

(財)日本宇宙少年団理事長賞

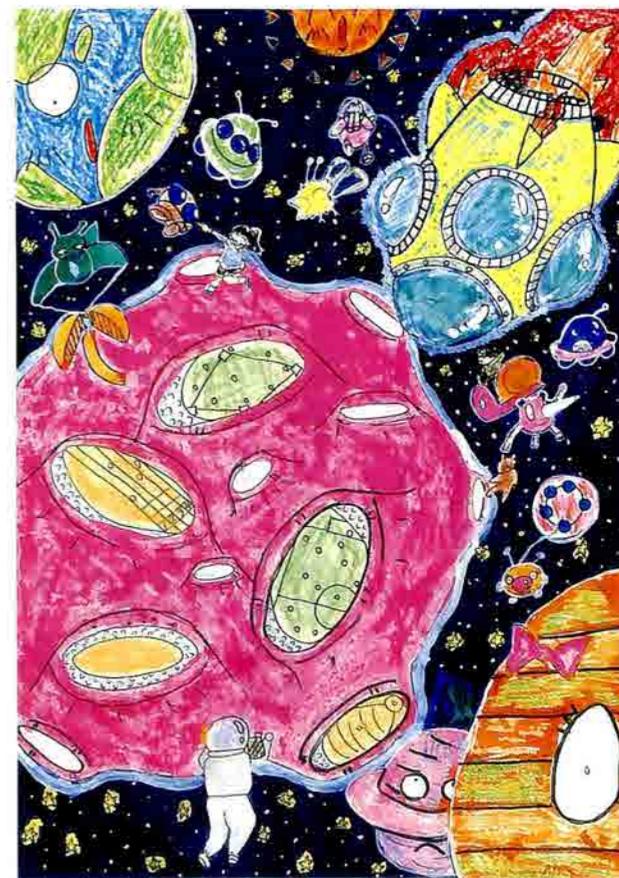
佳作

氏名	学校・学年	住所
曾根原 智子	大宮市立泰平中学校・1年	埼玉県大宮市
辰野 史佳	広島市立五日市南中学校・3年	広島県広島市
亀山紗稚子	館林市立第一中学校・2年	群馬県館林市
落合 香奈	名古屋市立守山中学校・1年	愛知県名古屋
山本美代子	千代田町立千代田中学校・1年	茨城県新治郡
中里 希	上河内町立上河内中学校・1年	栃木県河内郡
山内 美郷	千代田町立千代田中学校・1年	茨城県新治郡



小学生部門

田中 栄理奈  
姫路市立大津茂小学校・4年  
兵庫県姫路市



中学生部門

曾根原 智子  
大宮市立泰平中学校・1年  
埼玉県大宮市



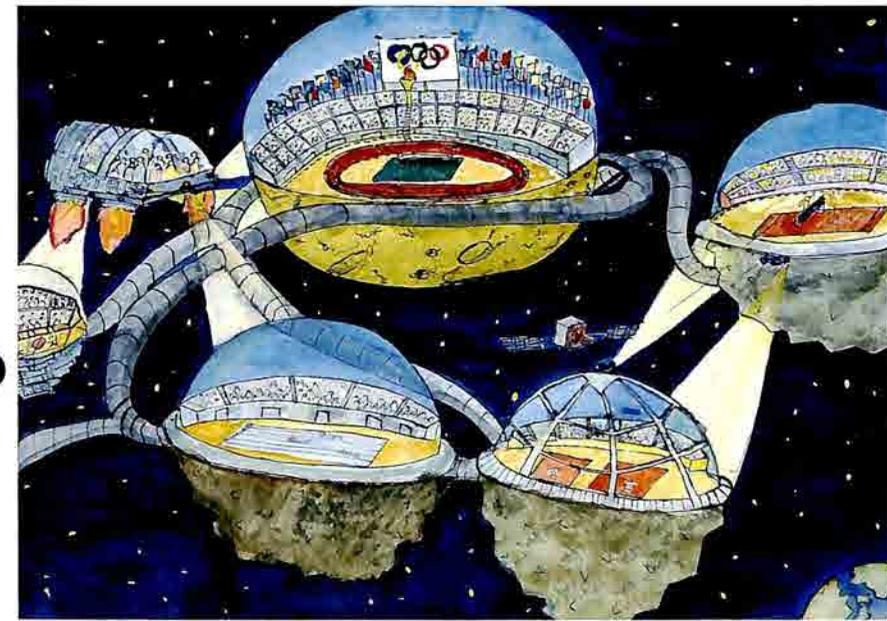
小学生部門

恩賀 あゆみ  
八戸市立小中野小学校・2年  
青森県八戸市



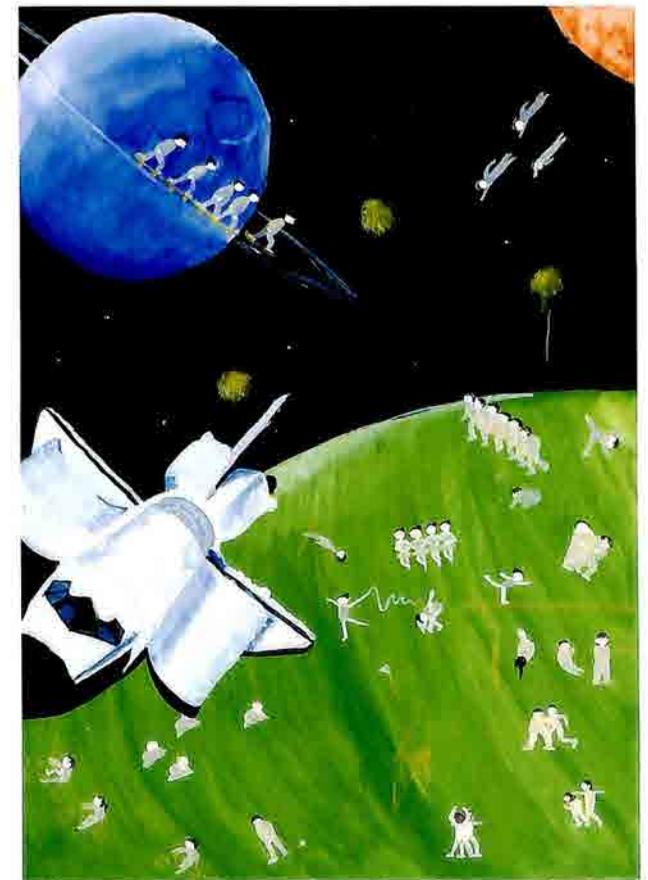
中学生部門

辰野 史佳  
広島市立五日市南中学校・3年  
広島県広島市



小学生部門

風間 勇樹  
岐阜市立長良東小学校・5年  
岐阜県岐阜市



中学生部門

亀山 紗稚子  
館林市立第一中学校・2年  
群馬県館林市



小学生部門

加賀 雄太  
柏村立柏小学校・3年  
青森県西津軽郡



中学生部門

落合 香奈  
名古屋市立守山中学校・1年  
愛知県名古屋市

佳作



小学生部門

加賀 修平  
柏村立柏小学校・5年  
青森県西津軽郡



小学生部門

篠崎 友利江  
栃木市立寺尾南小学校・2年  
栃木県栃木市



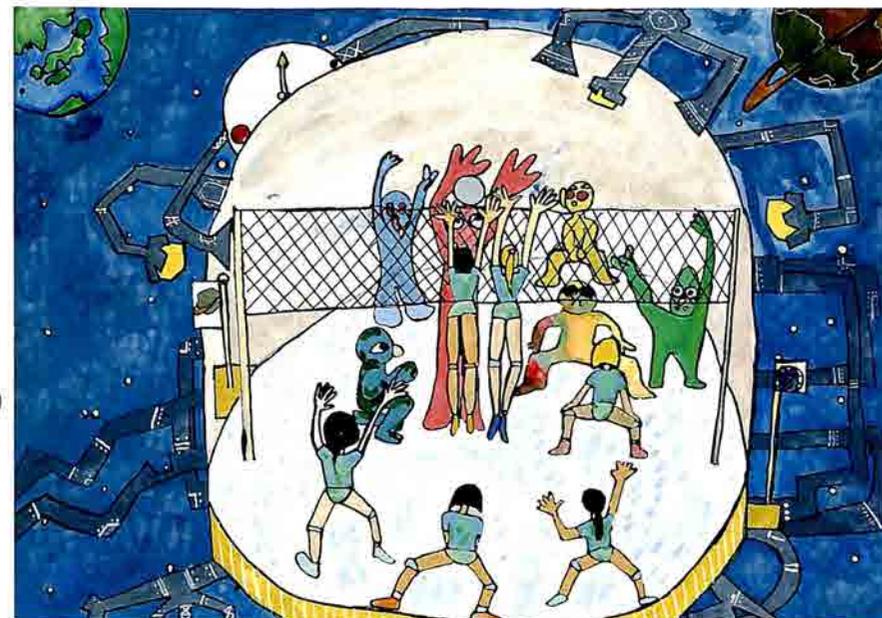
小学生部門

柘植 加奈子  
千葉市立高浜第三小学校・4年  
千葉県千葉市



小学生部門

永島 克俊  
大多喜町立西畑小学校・3年  
千葉県夷隅郡



小学生部門

永井 美帆  
角田市立角田小学校・6年  
宮城県角田市



中学生部門

山本 美代子  
千代田町立千代田中学校・1年  
茨城県新治郡



小学生部門

和田 裕路

札幌市立新光小学校・6年  
北海道札幌市



中学生部門

中里 希

上河内町立上河内中学校・1年  
栃木県河内郡



中学生部門

山内 美郷

千代田町立千代田中学校・1年  
茨城県新治郡



小学生部門

春木 奎

岡山市立西小学校・1年  
岡山県岡山市



小学生部門

藤野 夢子

福岡市立箱崎小学校・3年  
福岡県福岡市



小学生部門

本郷 裕太

姫路市立八幡小学校・1年  
兵庫県姫路市

# 「全国小・中学生絵画コンテスト」実施記録

「全国小・中学生絵画コンテスト」は平成8年「宇宙の日」記念行事の一環として全国の小・中学生を対象に「宇宙でもオリンピック」をテーマとして「宇宙の日」にふさわしい絵画を公募しました。

## 募集要項

- テーマ 「宇宙でもオリンピック」  
 応募資格 全国の小・中学生  
 応募締切 平成8年7月8日(月) (当日必着)  
 応募方法 A2サイズ(420mm×594mm)以下の用紙を使用。作品の裏に必ず、応募用紙または住所(フリガナ)・氏名(フリガナ)・電話番号・学校名・学年・年齢を明記した用紙を添付の上、右の応募先までお送りください。使用する画材は自由です。応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。なお、入選作品の著作権は主催者側に帰属し、応募作品の返却はできませんのでご了承ください。  
 審査 参加科学館および「全国小・中学生絵画コンテスト」審査委員会にて厳正に審査します。  
 発表 各賞の入選者に直接通知します。

## 賞および副賞

科学技術庁長官賞 (各部門1点)	宇宙の夢が膨らむ 60mm経緯台天体望遠鏡
文部省宇宙科学研究所長賞 (各部門1点)	フロッピー、照明付き地球儀 スキヤングノーズ
宇宙開発事業団理事長賞 (各部門1点)	天体望遠鏡ほか パワードレンジャーにも天体望遠鏡
財団法人宇宙フォーラム理事長賞 (各部門1点)	元いっばい野山を駆け回る マウンテンバイク
財団法人宇宙少年団理事長賞 (各部門1点)	最大40倍カメラホルダー付き顕微鏡 マイクロソフト900
佳作 (計10点)	雲のない素面の地球儀 サテライト地球儀ジオ

## 主催

- 科学技術庁  
 〒100 東京都千代田区霞ヶ関2-2-1  
 電話03-3581-5271
- 文部省宇宙科学研究所  
 〒229 神奈川県相模市由野台3-1-1  
 電話04227-5113911
- 宇宙開発事業団  
 〒105 東京都港区浜松町2-4-1  
 電話03-5470-4111
- 財団法人宇宙フォーラム  
 〒105 東京都港区浜松町1-7-1  
 電話03-3459-1651
- 財団法人宇宙少年団  
 〒103 東京都中央区日本橋兜町1-7-2  
 電話03-3669-7480

## 応募総数

- 小学生部門 3224点  
 中学生部門 62点  
 合計 3286点

## 参加科学館

- 北網走北見文化センター  
 〒090 北海道北見市公園町1番地  
 電話0157-2316700
- 室蘭市青少年科学館  
 〒051 北海道室蘭市本町2-2-1  
 電話0143-2211058
- 釧路市青少年科学館  
 〒085 北海道釧路市春湖台1-7  
 電話0154-4116225
- 旭川市青少年科学館  
 〒070 北海道旭川市常磐公園  
 電話0166-224171
- 札幌市青少年科学館  
 〒060 北海道札幌市厚別区厚別中央5丁目2-20  
 電話011-892-5001
- 苫小牧市科学センター  
 〒053 北海道苫小牧市旭町3-1-12  
 電話0144-339158
- 八戸市視覚センター・児童科学館  
 〒031 青森県八戸市根塚4-3-1  
 電話0178-458131
- 秋田県立こども博物館  
 〒010 秋田県秋田市山中島町1-2  
 電話0188-651164
- 秋田県立農業科学館  
 〒014 秋田県大曲市内小友字中沢171-4  
 電話0187-682300
- 斎藤報恩会自然史博物館  
 〒980 宮城県仙台市青葉区本町2-20-2  
 電話022-262-5506
- 仙台市科学館  
 〒981 宮城県仙台市青葉区台原森林公園4-1  
 電話022-276-2201
- 角田市スペースタワー・コスモハウス  
 〒9815 宮城県角田市角田字牛館100  
 電話0224-635839
- 郡山市児童文化会館  
 〒963 福島県郡山市開成1-1-1  
 電話0249-132-5326
- 栃木県子ども総合科学館  
 〒321 栃木県宇都宮市西川田町567  
 電話028-659-5555
- 館林市子ども科学館  
 〒374 群馬県館林市城町2-2  
 電話0276-751515
- つくばエキスポセンター  
 〒305 茨城県つくば市吾妻2-19  
 電話0298-581100
- 大宮市宇宙劇場  
 〒331 埼玉県大宮市錦町682-2  
 電話048-647-0011
- 浦和青少年宇宙科学館  
 〒336 埼玉県浦和市駒場2-3-45  
 電話048-881-1515
- 越谷市児童館コスモス  
 〒343 埼玉県越谷市上間久里277  
 電話0489-781515
- 千葉市立郷土博物館  
 〒260 千葉県千葉市中央区多摩1-6-1  
 電話043-222-8231
- 東金こども科学館  
 〒283 千葉県東金市八坂台1-2107-3  
 電話0475-556241
- 科学技術館  
 〒102 東京都千代田区北の丸公園2-1  
 電話03-3212-8509
- 葛飾区郷土と天文の博物館  
 〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1  
 電話03-3838-1101
- 多摩六部科学館  
 〒188 東京都多摩市久保町5-10-64  
 電話0424-696100
- 東芝科学館  
 〒210 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地  
 電話044-549-2200
- 飯田市美術博物館  
 〒395 長野県飯田市追手町2-655-7  
 電話0265-228118
- 大町エネルギー博物館  
 〒388 長野県大町市大字平2-112-38  
 電話026-221-7770
- 富山市科学文化センター  
 〒939 富山県富山市西中野町1-8-31  
 電話0764-9112123
- でんきの科学館  
 〒460 愛知県名古屋市中区栄2-2-5  
 電話052-22011026
- 半田空の科学館  
 〒475 愛知県半田市南二ツ坂町80-32  
 電話0569-237175
- 岐阜市科学館  
 〒500 岐阜県岐阜市本荘3456-41  
 電話058-272-1333
- かかみかはら航空宇宙博物館  
 〒504 岐阜県各務原市下切町5-1  
 電話0583-868500
- 生駒市宇宙科学館  
 〒630 奈良県生駒市美畑町2312-1  
 電話07437-42251
- 大阪科学技術館  
 〒530 大阪府大阪市西区靉本町1-8-4  
 電話06-443-5321
- 姫路科学館  
 〒672 兵庫県姫路市青山1470-15  
 電話0792-673001
- 広島市こども文化科学館  
 〒730 広島県広島市中区基町5-83  
 電話082-222-5346
- 北九州市立交通科学館  
 〒803 福岡県北九州市小倉南区志井公園1-1  
 電話093-961-4301
- 宇宙博物館  
 〒805 福岡県北九州市八幡東区枝光900-1  
 スペースワールド内  
 電話093-672-3100
- 佐世保市児童文化館  
 〒857 長崎県佐世保市熊野町281  
 電話0956-231517



星ノ介くん

HOSHINOSUKE KUN

宇宙の日マスコットキャラクター

**主 催**

科学技術庁

文部省宇宙科学研究所

宇宙開発事業団

(財)日本宇宙フォーラム

(財)日本宇宙少年団